

兵庫県災害医療センターキャリア開発ラダー ステップアップシート

部署() 名前()

2021.2.17.

レベル		ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	ラダーⅤ		
レベルの定義		指導を受けながら、マニュアルに沿って実践する	自立して標準的な看護を実践し、メンバーシップを発揮する	個別的な看護を実践し、リーダーシップを発揮する	熟練した看護を実践し、チーム医療を推進する	チーム医療の要となり、創造的にリーダーシップを発揮する		
大項目	中項目\レベル	ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	ラダーⅤ	備考欄	
職業倫理	専門職として行動する力 【豊かな人間性と社会性、高い倫理観を持ち、勤務時間の内外に関わらず、法令や服務規程、社会的規範、看護者の倫理綱領を遵守した行動をする】	<input type="checkbox"/> 服務規律が遵守できる <input type="checkbox"/> 社会的信用の重要性を認識して、社会規範や倫理と照らして行動できる <input type="checkbox"/> 看護者の倫理綱領を理解し、指導を受けながら行動でき、気づきをメンバーに伝えることができる <input type="checkbox"/> 接遇技能を習得し、適切な態度・身だしなみを常に意識し行動できる <input type="checkbox"/> 院内暴力、ハラスメント等が認識できる <input type="checkbox"/> 院内暴力、ハラスメント等を受けたときに、すぐに報告ができる	<input type="checkbox"/> 服務規律が遵守できる <input type="checkbox"/> 社会的信用の重要性を認識して、社会規範や倫理と照らして行動できる <input type="checkbox"/> 看護者の倫理綱領に基づき、意識して行動でき、気づきをメンバーに伝えることができる <input type="checkbox"/> 接遇技能を習得し、適切な態度・身だしなみを常に意識し行動できる <input type="checkbox"/> 周囲で院内暴力、ハラスメント等があったときにすぐに報告ができ、必要時は応援を呼ぶことができる	<input type="checkbox"/> 社会的信用の重要性を認識して、社会規範や倫理と照らして行動できる <input type="checkbox"/> 看護者の倫理綱領に基づき意識して行動でき、部署の倫理問題に気づきメンバーに発信できる <input type="checkbox"/> 接遇技能を習得し、適切な態度・身だしなみを常に意識し行動できる <input type="checkbox"/> 院内暴力、ハラスメント等への対応ができる	<input type="checkbox"/> 社会的信用の重要性を認識して、社会規範や倫理と照らして行動できる <input type="checkbox"/> 看護者の倫理綱領に基づき意識して行動でき、部署の倫理問題を明確にし、解決に向けて行動できる <input type="checkbox"/> 接遇技能を習得し、適切な態度・身だしなみを常に意識し行動できる <input type="checkbox"/> 日頃から院内暴力、ハラスメント等のスタッフへの啓蒙を行い、対応ができる	<input type="checkbox"/> 社会的信用の重要性を認識して、社会規範や倫理と照らして行動できる <input type="checkbox"/> 看護者の倫理綱領に基づき意識して行動でき、部署の倫理問題を明確にし、解決に向けて行動できる <input type="checkbox"/> 接遇技能を習得し、適切な態度・身だしなみを常に意識し行動できる <input type="checkbox"/> 日頃から院内暴力、ハラスメント等のスタッフへの啓蒙を行い、対応ができる		
	行動目標							
大項目	レベル	ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	ラダーⅤ	備考欄	
看護の核となる実践能力	中項目\レベル	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する		
	ニーズをとらえる力 【ケアの受け手をとらえ、判断し、その人に適した方略を選択する】 ※ここで求めているスピリチュアルな情報は、死、病、老い、不慮の事故など日常性が破られるような状況に遭遇したときに、ケアの受け手が持つ「自分は何のために生きているのか」という生きる意識への問いである	レベル毎の目標	助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえてニーズをとらえる	
	行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる	<input type="checkbox"/> 自立してケアの受け手に必要な身体的・精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個性をふまえた必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	<input type="checkbox"/> 予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる		
	ケアする力 【ケアの実施・評価を行う(PDCAサイクルや看護過程の展開)】	レベル毎の目標	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する	
	行動目標	<input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる <input type="checkbox"/> 指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる <input type="checkbox"/> 看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況に応じた援助ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性に合わせて、適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性をとらえ、看護実践に反映ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを選択し実践できる <input type="checkbox"/> 幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の複雑なニーズに対応するため、あらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる <input type="checkbox"/> 複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる		
協働する力 【ケアの受け手を中心に、情報やデータを多職種間で共有し、ケアの方向性を検討、連携する】	レベル毎の目標	関係者(家族、親類、後見人など)と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす		
行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアに必要な判断した情報を関係者から収集することができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる <input type="checkbox"/> 報告・連絡・相談ができる <input type="checkbox"/> 緊急事態や急変時に気付くことができ、助言を受けながら行動できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる <input type="checkbox"/> 関係者と密にコミュニケーションを取ることができる <input type="checkbox"/> 看護の展開に必要な関係者を特定できる <input type="checkbox"/> 看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる <input type="checkbox"/> 助言を受けながら緊急事態や急変時に対応できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手とケアについて意見交換できる <input type="checkbox"/> 積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる <input type="checkbox"/> 緊急事態や急変時にメンバーシップを発揮できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる <input type="checkbox"/> 多職種間の連携が機能するように調整できる <input type="checkbox"/> 多職種の活力を維持・向上させる関わりができる <input type="checkbox"/> 多職種と連携し、緊急事態や急変時に迅速に対応し、リーダーシップを発揮できる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる <input type="checkbox"/> 多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる <input type="checkbox"/> 急変時対応についてデブリーフィングを行いスタッフにフィードバックできる			
意思決定を支える力 【ケアの受け手が立ち会う場面(治療、最期の迎え方等)において、その人らしい選択ができるための意思決定を支える】	レベル毎の目標	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる		
行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる <input type="checkbox"/> 確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる <input type="checkbox"/> 確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	<input type="checkbox"/> 適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる <input type="checkbox"/> 法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる			

大項目	レベル		ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	ラダーⅤ	備考欄
	中項目\レベルの定義		所属部署で、割り当てられた簡単なルーティンの作業を担当する。自己の役割を理解し、チームメンバーの一員として行動する	リーダーシップを学びながら、所属部署で後輩育成や係のリーダーとしての役割を遂行する。看護チームでは、自立してメンバーシップを発揮する	所属部署のチーム運営で、リーダーシップを発揮する	チーム医療を推進し、所属部署の目標達成に向けたマネジメント力を発揮する	看護部や病院から求められる役割を認識し、チームの要として、創造的なマネジメント力を発揮する	
組織的役割遂行能力	チームを運営する力 【メンバー間でコミュニケーションを図り、良好な人間関係を築く。お互いの考えを尊重しつつ、知識と情報を共有し、チームや組織の目標を達成する】	レベル毎の目標	チームメンバーとして行動する	チーム運営に協力する	メンバーに働きかけ、チームを運営する	メンバー間を調整し、よりよい部署運営をする	メンバーの活力を引き出し、中心となってよりよい部署運営をする	
		行動目標	<input type="checkbox"/> 自分の意見を持ち、説明できる <input type="checkbox"/> 素直な態度で助言を聞くことができる <input type="checkbox"/> 支援を受けながら自身の業務計画が立案できる <input type="checkbox"/> チームに関心を持ち、メンバーの一員として協力できる	<input type="checkbox"/> 自分の意見を伝え、相手の意見を聞くことができる <input type="checkbox"/> チーム運営に必要な情報をメンバー間で共有できる <input type="checkbox"/> 自身の業務計画に沿って実施できる <input type="checkbox"/> チームの目標を理解し、自分に任せられた役割を認識し、与えられた役割行動ができる	<input type="checkbox"/> メンバーに関心に向け、メンバーの特性が把握できる <input type="checkbox"/> メンバーに働きかけ、意見交換ができる <input type="checkbox"/> チーム内の業務計画に沿って進められるよう調整できる <input type="checkbox"/> チーム目標について、実践につなげてメンバーに説明できる	<input type="checkbox"/> 相手の価値観を尊重し、思いや考えを共感的に理解することができる <input type="checkbox"/> 多部門と良好なコミュニケーションをとり、調整することができる <input type="checkbox"/> 部署活動をスケジュールに沿って効率的に実施できるよう、メンバー間の協力体制を作ることができる <input type="checkbox"/> 部署の方針や目標を理解して、メンバーにチーム目標を浸透させることができる <input type="checkbox"/> チームの目標達成に向けて、メンバーの目標の進捗状況を確認し、必要に応じ支援ができる	<input type="checkbox"/> 相手の価値観を尊重し、思いや考えを共感的に理解することができる <input type="checkbox"/> 多部門の利害も理解しながら交渉ができる <input type="checkbox"/> 部署の活動をスケジュールに沿って効率的に実施できるよう、多職種間の協力体制を作ることができる <input type="checkbox"/> 目標達成のために方向性を示し、チーム力を引き出すよう支援できる	
	教養育む力 【様々な場面を学びの機会と捉え、互いに認め合い、共に成長する】	レベル毎の目標	自己の知識や考えをメンバーに伝える	自己の知識や考えをメンバーに伝え共有する	メンバーが必要とする知識と学びの場(状況)をつくる	学習課題に合わせた学びの場(状況)をつくる	継続的に学びの場(状況)をつくる	
		行動目標	<input type="checkbox"/> 自分が得た知識や考えをわかりやすく他者に伝えることができる <input type="checkbox"/> 新人のプリセプターの役割ができる <input type="checkbox"/> プリセプターのアソシエートの役割を果たすことができる <input type="checkbox"/> 他者の考えや知識、行動を尊重し、共に学び合うことができる <input type="checkbox"/> メンバーが理解できるまで丁寧に説明できる	<input type="checkbox"/> 学生や後輩への教育的支援ができる <input type="checkbox"/> 新人のプリセプターの役割ができる <input type="checkbox"/> プリセプターのアソシエートの役割を果たすことができる <input type="checkbox"/> 他者の考えや知識、行動を尊重し、共に学び合うことができる <input type="checkbox"/> メンバーが理解できるまで丁寧に説明できる	<input type="checkbox"/> メンバーの実践力を考慮し、業務を割り当て、教育的に支援ができる <input type="checkbox"/> カンファレンスなどの機会を捉え、互いに学び合う場を設定できる <input type="checkbox"/> メンバーの能力や行動の優れている点、課題に気づき、相手が理解できるように伝えることができる	<input type="checkbox"/> 経験学習を促進する場を意図的につくり出し、その結果をフィードバックできる <input type="checkbox"/> 学習の場で、参加者の活性化や協働が促進できるようファシリテーションできる <input type="checkbox"/> メンバーのキャリア開発のための支援ができる	<input type="checkbox"/> 学習の機会を逃さず、短期的長期的に経験学習を促進する場を設定でき、その結果をフィードバックできる <input type="checkbox"/> 学習の場で、組織や参加者の活性化、協働が促進できるようファシリテーターを支援できる <input type="checkbox"/> メンバーのキャリア開発のための継続的な支援ができる	
	創造し改善する力 【現状に満足せず、組織の強みを活かし、先取的に課題を捉え、医療の経済性をふまえて、人や組織を巻き込み、柔軟に改善・変革する】	レベル毎の目標	支援を受けて改善策を実践する	改善策を理解し実践する	改善策を提案し実践する	チームや部署の変革に取り組む	部署や組織の変革に取り組む	
行動目標		<input type="checkbox"/> 起こっている問題について考え、説明を受け理解できる <input type="checkbox"/> 改善策について支援を受けて実践できる	<input type="checkbox"/> 起こっている問題と要因について理解できる <input type="checkbox"/> 改善策の意図を理解し実践できる	<input type="checkbox"/> 起こっている問題に対して、現状の把握ができる <input type="checkbox"/> 経済性をふまえて具体的な改善策・アイデアを提案できる <input type="checkbox"/> 改善策を実践し、評価できる	<input type="checkbox"/> 現場の潜在的な問題に気づき、データ収集・分析を行い、問題提起できる <input type="checkbox"/> 経済性をふまえて、対応策を提案し、メンバーと共に実践できる <input type="checkbox"/> 取り組んだ結果をメンバーと共に多角的に評価できる	<input type="checkbox"/> 先取的な課題をとらえ問題提起できる <input type="checkbox"/> 経済性をふまえて、取り組みの方法を企画し、人や組織を巻き込みながら実践できる <input type="checkbox"/> PDCAサイクルを展開し実践できる		
災害医療 【地域の特性を理解し、災害発生時の組織の体制と指揮命令系統を理解し、自己のとるべき行動や役割を認識する。災害サイクルを理解し、急性期にセンターとしての役割を果たせる。不測の事態が生じたときに、動じず行動できるよう常日頃から備える】	レベル毎の目標	災害時支援を受けて行動できる	災害時支援を受けながら実践できる	災害時所属部署リーダーとしてメンバーと協働し実践できる	災害時リーダーシップを発揮し他部署との連携ができる	災害時マネジメント力を発揮できる		
	行動目標	<input type="checkbox"/> 地域医療構想における自施設の役割が理解できる <input type="checkbox"/> 職場の災害訓練、災害研修に参加できる <input type="checkbox"/> 災害医療、災害看護の概念が理解できる <input type="checkbox"/> 災害発生時に行動指針(BCPマニュアル、フローチャート)となるものを理解し支援を受けながら行動できる <input type="checkbox"/> 防災訓練、防災研修の必要性を理解し、参加できる <input type="checkbox"/> 行動指針(BCPマニュアル、フローチャート)となるものを理解できる	<input type="checkbox"/> 地域医療構想における自施設の役割が理解できる <input type="checkbox"/> 日頃から職場の災害訓練、災害研修に参加し、災害や大規模事故発生時には専門職としてどう行動するか理解できる <input type="checkbox"/> 災害発生時のセンターの役割・機能を理解できる <input type="checkbox"/> 災害発生時に行動指針に基づいた報告ができ、支援を受けながら実践できる <input type="checkbox"/> 防災訓練、防災研修の内容を理解し実践できる <input type="checkbox"/> 国内外の災害医療に関心を持つことができる <input type="checkbox"/> 行動指針(BCPマニュアル、フローチャート)となるものを理解できる	<input type="checkbox"/> 地域医療構想における自施設の役割が理解できる <input type="checkbox"/> 日頃から職場の災害訓練、災害研修に参加し、災害や大規模事故発生時には専門職として行動できる <input type="checkbox"/> 災害発生時、所属部署リーダーとして行動指針に基づいた状況判断と指示ができる <input type="checkbox"/> 防災訓練、防災研修で実践し、評価の段階的な関わりがもてる <input type="checkbox"/> 国内外の災害医療に関心を持ち、積極的に情報収集が行える <input type="checkbox"/> 行動指針(BCPマニュアル、フローチャート)を理解し、自分の行動を伝えることができる	<input type="checkbox"/> 地域医療構想における自施設の役割が理解できる <input type="checkbox"/> 日頃から職場の災害訓練、災害研修に参加し、災害や大規模事故発生時には専門職として率先して行動できる <input type="checkbox"/> 災害発生時、リーダーシップを発揮して多職種と連携・調整ができ、院内外の統括調整が行える <input type="checkbox"/> 防災訓練、防災研修を実施し、その中で問題を抽出できる。また改善に向けた取り組みができる <input type="checkbox"/> 行動指針(BCPマニュアル、フローチャート)を理解し行動ができ、指導することができる	<input type="checkbox"/> 地域医療構想における自施設の役割が理解できる <input type="checkbox"/> 日頃から職場の災害訓練、災害研修に参加し、災害や大規模事故発生時には専門職として率先して行動できる <input type="checkbox"/> 災害発生時、リーダーシップを発揮して多職種と連携・調整ができ、院内外の統括調整が行える <input type="checkbox"/> 防災訓練、防災研修を実施し、企画・実践・評価・修正ができ、外部部門との調整ができる <input type="checkbox"/> 行動指針(BCPマニュアル、フローチャート)を理解し、多職種と連携して行動できる		

大項目	レベル		ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	ラダーⅤ	備考欄
	中項目\レベルの定義		自己の課題を発見し、自主的に学習に取り組む	自己の課題達成に向けて、学習活動を展開する	キャリアビジョンを描き、自己の学習活動に積極的に取り組む	看護の専門性を高めキャリアビジョンに沿って主体的に学び続ける	看護の質を追求し、キャリアビジョンに沿って学び続け、自己実現を図る	
自己教育・研究能力	学び続ける力 【キャリアパスに沿って、ワークライフハーモニー(仕事と生活と学習の調和)を意識し、専門職として自らの責任で継続的・積極的に自己の能力開発に取り組む】	レベル毎の目標	専門職としての学び方を身につける	主体的に学習活動に取り組む	キャリアビジョンを描き学習活動に取り組む	キャリアビジョンに沿って学び続ける	あらゆる環境においてもキャリアビジョンに沿って学び続ける	
		行動目標	<input type="checkbox"/> ラダーが理解できる <input type="checkbox"/> ワークライフハーモニーの必要性が理解でき、部署に必要な知識技術を自主的に学習できる <input type="checkbox"/> 同僚・先輩・上司の助言を得て、学習方法が理解できる <input type="checkbox"/> 自己の知識や技術を正しく評価することができる <input type="checkbox"/> 研究に興味を持つことができる <input type="checkbox"/> チームの一員であることを自覚し、社会人として基本的なマナーを身につける	<input type="checkbox"/> ラダーについて理解し、目的をもって自主的に参加できる <input type="checkbox"/> ワークライフハーモニーを意識して、所属する部署のみならず、関連する部門の知識を主体的に学習できる <input type="checkbox"/> 他者の知識・行動から学ぶことができ、学んだ知識を次の実践に活かすことができる <input type="checkbox"/> 研究に興味を持つことができ文献検索できる <input type="checkbox"/> 規律を守り、自立した行動ができる	<input type="checkbox"/> ラダーに基づき、キャリア開発を意識しながら積極的に自己の課題を達成する <input type="checkbox"/> ワークライフハーモニーを意識してキャリアビジョンを描き、課題が明確にできる <input type="checkbox"/> 研修等に自ら積極的に参加し、自己の課題が達成できる <input type="checkbox"/> 実践を研究的視点で捉え、支援を受けながら取り組むことができる <input type="checkbox"/> 規律を守り、他者への指導ができる	<input type="checkbox"/> ラダーに基づき、能力開発を積極的かつ継続的にを行い、その結果を有効活用できる <input type="checkbox"/> キャリアビジョンに沿って、ワークライフハーモニーを意識して、計画的に自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 看護実践の質向上のため、研究に取り組むことができる <input type="checkbox"/> 専門領域の学習の他、あらゆる情報を収集し、深め自己のものにすることができる <input type="checkbox"/> 看護実践の質向上のため、研究メンバーの指導的役割を担いながら研究に取り組むことができる <input type="checkbox"/> 規律を守る勤務ができ、看護職員としての基本的姿勢と態度を自覚し、役割モデルとなることができる	<input type="checkbox"/> ラダーに積極的協力をし、専門領域における能力開発を積極的かつ継続的にを行い、その結果を有効活用できる <input type="checkbox"/> 環境が変わってもキャリアビジョンに沿って、ワークライフハーモニーを意識して、継続的に自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 率先して継続的に研究に取り組むことができる <input type="checkbox"/> 専門領域の調整・相談・マネージメントができる <input type="checkbox"/> 専門領域において、継続的に研究に取り組むことができる <input type="checkbox"/> 規律を守る勤務ができ、他者への配慮も行い、所属部署の規律保持のためのコーディネートができる	
	セルフコントロールする力 【感情と思考のバランスを取り、自分の行動を律する】	レベル毎の目標	体調・時間・感情のコントロールをする	自己の現状を把握し、ストレスをコントロールしながら職務を遂行する	自己で動機づけをし、必要な事を継続して実行する	自分を尊重し相手も尊重でき、チーム・部署運営につなげる	現状に満足せず、努力を続け、部署・組織運営につなげる	
行動目標		<input type="checkbox"/> 自己のストレスを理解し、支援を受けながら対処できる <input type="checkbox"/> 感情的な行動を抑えることができる <input type="checkbox"/> 仕事の時間や期日を守ることができる	<input type="checkbox"/> ストレスマネジメントを意識して、ストレスのかかる状況でも、安定した態度で職務を遂行できる <input type="checkbox"/> 置かれた状況で自己の役割を認識し、責任を持って実行できる	<input type="checkbox"/> ストレスマネジメントを意識して、ストレスのかかる状況でも、最善の看護を實踐し、自己成長につなげることができる <input type="checkbox"/> 目標のセルフマネジメントができる	<input type="checkbox"/> ストレスマネジメントを意識し、ストレスのかかる状況でも、自己の感情をコントロールして自己決定できる	<input type="checkbox"/> ストレスマネジメントを意識して、ストレスのかかる状況でも、自己の感情をコントロールして、前向きにとらえ、そのことをエネルギーにして、自己実現につなげることができる		
内省する力 【コルプの経験学習サイクル(具体的な体験、内省、概念化、実践)で、常に実践を振り返り、それを過去の経験や理論と連動させ、意味づけることにより、新しい知識と統合して成長する】	レベル毎の目標	経験した内容を支援を受けて内省する	経験した内容を内省する	内省して得た学びを概念化し、実践する	経験学習サイクルで得た学びをチームや部署運営活用できる	経験学習サイクルで得た学びを形式知に変換し、組織運営に活用する		
	行動目標	<input type="checkbox"/> リフレクションの必要性を理解して、同僚・先輩・上司の支援を受けて、経験した内容を振り返ることができる	<input type="checkbox"/> 同僚・先輩・上司との対話の中で、経験した内容を振り返ることができる	<input type="checkbox"/> 同僚・先輩・上司との対話の中で、経験した内容を振り返り、そこから得た教訓を言葉や図を用いて表現し、新たな状況に適用させ、実践できる	<input type="checkbox"/> 経験した内容を振り返り、そこから得た教訓を言葉や図を用いて表現し、新たな状況に適用させ、実践して得られた知識を、部署運営や組織運営に活用できる			